

## 五十嵐 幸男

IGARASHI Yukio (1917~2013)

大正6年(1917)1月19日岩手県東磐井郡藤沢町に生まれ、平成25年(2013)9月16日急逝、享年96歳。軍歴を経て埼玉県熊谷市で開業。酪農主体の診療に従事。研究熱心で信望厚く数々の役職とともに教育や国際交流に取り組んだ。陸軍功績で勲六等旭日章、勲五等瑞宝章、さらに従六位に叙される。その後、黄綬褒章、勲四等瑞宝章、平成18年(2006)旭日重光章伝達式では代表して謝辞を述べる栄誉に浴した。畜産の振興・獣医師会の発展に尽力し、「徳義と和」の精神を大切に獣医界敬愛の偉大なリーダーである。なお、多嘉子夫人も勲五等瑞宝章を受章している。



**【学歴】**盛岡農学校卒業後、盛岡高等農林学校に入学、陸軍獣医依託生となる。在学中剣道部を率いた。卒業後、陸軍獣医学校乙種から甲種学生となり軍陣獣医外科学を専攻した。終戦後、日本大学農獣医学部研究員として「乳牛の泌乳障害に関する研究」「反芻胃の機能障害に関する研究」、国からの研究費で乳房炎と第4胃疾患の研究を行う。昭和40年(1965)日本大学から獣医学博士号を授与。

**【経歴】**昭和13年(1938)獣医部見習士官として騎兵入隊後獣医少尉、さらに中尉任官第104師団病馬廠長として通称五十嵐部隊を率いた。大尉任官、近衛師団等を経て関東軍軍陣外科学教官兼付属病馬廠長(新京)。後、獣医少佐任官。敗戦によりシベリアに抑留される。復員後、佐谷田獣医科医院を開業。埼玉県獣医師会理事、監事を経て副会長、昭和56年(1981)から6期18年間埼玉県獣医師会会長後名誉会長。昭和48年(1973)から日本獣医師会理事、常任理事、副会長を経て平成11年(1999)から3期6年間第10代日本獣医師会会長として重責を担った。平成17年(2005)から日本獣医師会顧問。また、日本家畜人工授精師協会、日本装蹄師会、全国家畜畜産物衛生指導協会、中央畜産会、日本動物保護管理協会等の役員を兼務した。

**【業績】**畜産の構造変化が進み生産的獣医療技術の在り方をはじめ、獣医師法改正、獣医学教育年限、動管法の成立、魚病、集合狂犬病予防注射、オーエスキー病国内発生拡大等の対策に当たる。平成7年(1995)天皇皇后両陛下の臨御を仰いだ世界獣医大会が成果を上げた。会長に就任すると直ちに「インフォームド・

コンセント」の徹底を宣言し、診療料金の実態調査結果を公表、地方獣医師会に「動物医療相談窓口」を設置し、小動物医療の適正化を図り社会的要求に応えた。豚コレラの国内撲滅対策、平成12年(2000)の宮崎の口蹄疫疑似発生、平成13年(2001)年の千葉県BSE発生後の個体識別と情報管理・全頭検査体制の確立、平成16年(2004)山口県で79年ぶりの高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)対策に取り組んだ。また、(社)日本獣医学会と共同学会の開催、生涯教育、学校飼育動物、監視伝染病体制、農場HACCP、人獣共通感染症、野生動物救護、身体障害者補助犬等の対策を推進した。さらに、倫理規範として小動物と産業動物の医療指針を策定した。日本獣医師会の組織改革や農水省小動物班設置を進めた。関東しゃくなげ会会長として産業動物獣医療の普及向上に努めた。現場重視の著作に加えて、牛の乳頭切開や胃汁採取器具を考案実務に供した。

獣医師免許審議会委員、動物保護審議会専門委員、埼玉県畜産協議会委員、(社)日本獣医学会評議員、日本臨床獣医学会評議員をはじめ、北里大学客員教授、日本大学講師、北里研究所客員部長、埼玉栄養専門学校理事として教育にも深く関わった。また、中国青年の国内研修・台湾との国際交流に貢献した。晩年「くまがや賢治の会」を激励。日本獣医史学会顧問・名誉会員。

【著書】乳牛の病気、共著 農文協、昭和43年(1968)。日本酪農の発展方向、共著 酪農事情社、昭和44年(1969)。乳牛の職業病、共著 酪農事情社、昭和46年(1971)。牛の臨床検査法、共著 農文協、昭和48年(1973)。肥育素牛を中心とした牛の病気、日本獣医師会、昭和49年(1974)。家畜外科学実技ノート、共著 日大家畜外科学教室、昭和50年(1975)。獣医内科学、共著 文永堂、昭和54年(1979)。豚病臨床図説、共著 日本畜産振興会、昭和60年(1985)。新版獣医内科学、共著 文永堂、昭和61年(1968)。獣医学大辞典、共著 チクサン出版社、平成元年(1989)。他。

【参考文献】旭日重光章受賞祝賀会資料、平成18年(2006)。日獣60年誌特別寄稿、平成20年(2008)。埼玉獣60周年記念誌、平成21年(2009)。盛農同窓会だより、平成24年(2012)。日獣会誌、66巻10号、平成25年(2013)。

比留間一男 (HIRUMA Kazuo)

---

## 栗田武男

KURITA Takeo (1898~1987)

明治31年(1898)6月26日利根川の南岸埼玉県大里郡弥藤吾村(妻沼町を経て現・熊谷市)の素封家に次男として誕生。長じて地元の小学校、熊谷中学校を経て大